

統廃合の抜本見直しと、定時制高校の一層の振興を求める要請書

貴委員会におかれましては、東京の定時制教育の発展にご尽力を頂きましてありがとうございます。
貴委員会は、私たちの度重なる要請にもかかわらず、二〇〇二年に、新たに十三校の定時制高校を統廃合する「新配置計画」を策定されました。九十七年の「第一次実施計画」、九十九年の「第二次実施計画」と合わせると四十四校の定時制高校が統廃合や単純廃校されるという大規模なものでした。「新配置計画」策定後四年が経過しましたが、計画実施に伴う様々な矛盾、問題点が噴出していきます。そしてそのしわ寄せが、多くの中学生や定時制で学んでいる生徒たちに押しつけられている現状を見るにつけ、私たちは深い憤りと不安を感じざるを得ません。

まず、一番大きな問題点の一つは、定時制高校に入れなくなっている現状があることです。その矛盾は二〇〇四年度入試から現れました。夜間定時制の二次募集に関していえば、二〇〇四年度には十三校で九十四人が不合格となりました。二〇〇五年には十一校で八十九人が不合格、そして今年の入試では十二校で七十七人が不合格になったのです。さらに、来年度は、旧三学区や八王子地区などを中心に、今までにない大規模な募集停止が行われます。具体的な対応策を示さなければ、今まで以上の不合格者が出る可能性があります。「定時制全体としては充足している」という一般論はもはや通用しません。八王子地区を例に取れば、四校十クラスが募集停止になります。新しく開設する八王子地区昼夜間定時制での夜間のクラスは二クラスだけです。地域的にも、近くで通える夜間定時制は立川、農業などしかなく、その定時制もすでに満杯状況です。

二つ目に、そのことに関わって、「留年問題」があります。多くの学校の募集停止に伴い、全体として今まで以上の留年生がでる可能性が強く、その生徒の受け入れ先がなくなってしまう。これを各学校任せにすれば、重大な事態を招きかねません。

三つ目に、「移転問題」に伴って生じてきた諸問題についてです。小石川高校定時制の三々四年生、両国高校定時制の二々四年生は、全日制が中高一貫校に改変されたため、それぞれ一橋高校、浅草高校に移転させられました。それに伴って、「通えない」ということで、転校した生徒が出ました。また、次のような声が寄せられています。「通学時間が長くなり、遅刻・欠席者が増えた」「突発的に使えるはずの教室が、他校の授業でふさがっていた」「他校生にからかわれたり、エレベーター内でのニアミスのトラブルなどが絶えない」「トイレが少ないため他の階まで行っている」等々。生徒には何の責任もないのに、このような教育条件の悪化を放置しておいていいのでしょうか。さらに、今後予定されている武蔵定時制の移転を強行すれば、問題がさらに広がることとなります。

計画策定時には想定されなかった以上のような事態を踏まえ、教育行政が保護者・生徒の声を真摯に受け止め、計画の見直し、再検討をすることが必要です。以下の項目について要請いたします。

記

一、来年の入試において、旧三学区や八王子地区では夜間定時制高校が一挙に募集停止となるため定時制高校に入学できない生徒が多数生じることが危惧され、その周辺地区などでも大きな混乱が予想

される。今年度の入試で多数の生徒の応募があった学校の募集停止を延期するなど具体的対応策を示すこと。

二、募集停止校においては「留年問題」が深刻になっている。周辺の定時制高校も減らされ転校等にも困難が生じている中で、こうした教育課題についても学校任せにせず、責任を持った対応策を示すこと。

三、都教育委員会は定時制高校の統廃合に当たって「現在の生徒には迷惑をかけない」ことを最低限の前提としていたが、小石川・両国定時制が一橋・浅草高校に移転させられさまざまな問題が起こっている。生徒の経済的・精神的負担を軽減し、教育条件の確保に全力を尽くすこと。今後予定されている武蔵定時制の移転は中止すること。

四、募集停止校の周辺校などでは、クラス人数が三〇名を超えているところも少なくない。定時制の「二〇人学級」を実施するとともに、生徒が定員を超えて多数応募している学校については学校の意見を踏まえ緊急に改善措置を行うこと。

五、募集停止校での教育条件を確保するため、教員定数の激変緩和等、教育条件整備に特別な配慮をすること。

六、都教育委員会が以前から述べている「定時制教育振興策」の具体的内容を示すこと。（教職員定数増、募集対策の充実、補助金制度の拡充、自校方式の給食の拡大等々）

七、「改革推進計画」を抜本的に見直し、夜間定時制の統廃合を中止すること。「定時制のあり方」などを論議する場合には生徒・保護者・教職員の意見を十分に尊重すること。

八、「国連子どもの権利委員会」第二回勧告、並びに東京弁護士会の「意見」を尊重すること。

「都立定時制高校を守る会」連絡会

代表 森 光男

東京都教育委員会 教育長殿